解　説

第20章　　　医療・衛生・環境

医療施設数、病床数

病院数はほぼ横ばい・一般診療所数は増加、病床数は減少

　医療施設調査によると、令和3年10月1日現在の病院数は509施設(一般470施設、精神39施設)で、前年に比べ3施設減少しました。

一般診療所は8,680施設、歯科診療所は5,442施設で、前年に比べ一般診療所は146施設、歯科診療所は4施設、それぞれ増加しました。

病床数は10万4,080床で、前年に比べ481床減少しました。



病院数、病床数

[第20章1表より]

死因別死亡数

3.4人に１人はがんで死亡

　人口動態統計によると、令和3年中の死亡数は9万7,282人です。最も多い死因は悪性新生物(がん)で2万6,681人(構成比27.4%)、次いで心疾患(高血圧性を除く)1万5,597人(同16.0%)、肺炎5,781人(同5.9%)で、これら3疾患で全死亡数のほぼ半数を占めています。

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が三大死因といわれてきましたが、平成17年以降、肺炎が脳血管疾患を上回っています。

主な死因別死亡数

[第20章15表より]



感染症・食中毒・結核

増加のほとんどは新型コロナウイルス感染症

大阪府健康医療部によると、令和3年の感染症(『全数把握』のもののみ)・食中毒・結核の患者総数は17万7,223人で、前年に比べ14万3,307人(422.5%)増加しました。

類型別では、新型コロナウイルス感染症が17万3,791人(前年比14万3,792人、479.3%増)がそのほとんどを占め、結核は1,171人(同229人、16.4%減)、食中毒は428人(同177人、29.3%減)、梅毒は864人(同38人、4.2%減)と、いずれも減少しました。

新型コロナウイルス感染症患者数



[第20章17表より］

感染症・食中毒・結核患者数 (新型コロナウイルス感染症除く)



ごみ処理

排出総量は減少

　大阪府環境農林水産部によると、令和2年度のごみの排出総量は295万ｔで、前年度に比べ13万4千ｔ(4.3%)、10年前(平成22年度)に比べ50万5千ｔ(14.6%)、それぞれ減少しました。

資源化された量は39万6千ｔ、リサイクル率は13.4%で前年度に比べ0.3ポイント、10年前に比べ1.2ポイント、それぞれ増加しました。

ごみの排出総量、リサイクル率



[第20章20表より]